

 評価のポイント

CL-1.看護実践能力：ケアする力

[31-1]「がん」の基本的病態生理と回復過程

1. がん治療では、外科療法、放射線療法、化学療法の集学的治療の適応と利点、及び欠点を考えてみましょう。

スライド 15 を参照

2. がん化学療法の副作用には、どのようなものがあるか考えてみましょう。

スライド 19 を参照

3. 83歳の女性患者、配偶者は死別しており独居生活をしています。下血が見られ、精査をすると、大腸がんと診断されました。手術後の補助化学療法についての支援のあり方について考えてみましょう。

- 好中球減少に伴う感染のリスクを予防するために手指衛生としての手洗い、うがいの徹底を指導する。
- 定期的な受診による腫瘍マーカーの測定で治療のモニタリング及び再発の監視を行うことを指導する。